

より良い社会をつくる18歳成人を目指して “今”身につけたい力は？

生活の中の「？」を大切に、疑問を考え抜く力
八幡中学校 教諭 西澤里穂 先生

時代の流れや社会の変化に、柔軟(しなやか)に対応できる力を身につけてほしいです。
八幡中学校 校長 楠本茂樹 先生

正しい情報を正しくつかむ力を身に付けよう！
八幡西中学校 教諭 豆村 楽九 先生

さまざまな角度から考える力、そして判断する力。「自立した人間を目指して!!!」
八幡西中学校 教諭 林 正人 先生

多くの情報に触れ、確かな情報を得る力を育もう！
八幡東中学校 教諭 山崎昂太郎 先生

責任と判断力のある成人になろう
安土中学校 教諭 弓削久美先生

困ったことや悩みごとがある時、恥ずかしながら周りの人に相談しよう。自分から助けを求められるようになることが大切！
学校教育課 指導主事 堀田直美先生

18歳になると一人で契約ができ、自分の人生の可能性が広がります。楽しみですね。そのためには、自分で責任が負える力を身につけることが大事です！
安土中学校 教諭 奥田拓司先生

みんなつながる 消費者教育



18歳の自立した大人の消費者につながる近江八幡市で取り組む消費者教育 “育みたい資質・能力”

- 知識及び技能
 - ① 消費がもつ影響への理解
 - ② 情報社会のルールや情報モラルへの理解
 - ③ 商品等の安全への理解
 - ④ 危険を回避する方法への理解
 - ⑤ 契約等への理解
- 思考力・判断力・表現力など
 - ⑥ 消費生活情報に対して批判的に思考する力
 - ⑦ 適切に意思決定をする力
 - ⑧ 処理した消費生活情報を伝え合う力
- 学びに向かう力、人間性など
 - ⑨ 持続可能な消費を実践しようとする事
 - ⑩ これからの生活を設計・管理しようとする事
 - ⑪ 他者と協働して解決に向け行動しようとする事



公民の教科書にあります

発行:2022年3月
近江八幡市消費生活センター
制作協力:近江八幡市教育委員会
制作:(公財)消費者教育支援センター

これも消費者教育プロジェクトメンバー

- | | |
|-----------|-----------|
| 八幡中学校校長 | 楠本茂樹 |
| 八幡中学校教諭 | 西澤里穂 |
| 八幡東中学校教諭 | 山崎昂太郎 |
| 八幡西中学校教諭 | 林正人 |
| 八幡西中学校教諭 | 豆村楽九 |
| 安土中学校教諭 | 奥田拓司 |
| 安土中学校教諭 | 弓削久美 |
| 学校教育課指導主事 | 堀田直美(敬称略) |



地域の方に協力してもらいみんなで作品を出展した「西の湖 ヨシ灯り展」(安土中)

※今年度は中学校の先生中心にご協力いただきました。取組の成果は市教育委員会のサイトにアップをしています。是非ご覧ください。

家庭分野

2年 消費生活のしくみ 購入前に知っておくことー売買契約ー

「売買契約のトラブルの原因は何だろう。どうすれば防ぐことができるのだろう。あってしまったときの対処法も合わせて考えよう」



出典:家庭分野の教科書

👁️消費者被害への対応の仕方を学んで
クーリング・オフ制度が知れたので、困ったことがあれば使おうと思いました。消費者センターの話もちょっと聞いて良かったです。1週間経たないうちに連絡することが大事だとわかりました。どうしよう一人で考えず、相談しようと思いました。

👁️自立した消費者になろうを学んで
今までは不良品があっても値段が安かったら行くのも面倒なので店に問い合わせをすることもなかったけれど、授業を通して値段関係なしに不良品は店に問い合わせないといけないことがわかりました。消費者には権利があるから、自分の意見を主張することが大切だと思いました。

👁️生徒の感想・振り返り・発言等のアイコン

消費者の権利と責任

3年 契約と消費生活 消費者の権利を守るために

「消費者にはどのような権利が保障され、どのような責任を果たす必要があるのだろうか？」



インターネットでの通信販売のトラブル 18万8984件

出典:公民の教科書

👁️これからの自分の生活をどう変える

- ・お金のことや契約について学んだことをこれから生きていくなかで生かして、自立した消費者になれるようにしたい
- ・将来もし自分が売る側になったら、買う側の権利を大切に。無理やり買わせたりしない。
- ・消費生活では、一つひとつのものにたくさんの労働が関わっていることが分かったので、一人の消費者として、感謝を忘れないようにしていきたい。
- ・消費者の権利を万が一の時はうまく活用したい。消費者は不利な立場にあるので、契約を結ぶときはしっかり情報を集めていきたい。

社会公民

これも消費者教育プロジェクト2021

～中学校における教科間連携からのアプローチ～

令和4年4月から成年年齢が18歳に引き下げられ、新しいステージへ扉が開かれたと言えるでしょう。「契約」の主体となって社会に参加できる反面、消費者トラブルに巻き込まれるリスクも高まります。中学校においては、教科横断的に消費者教育を進めることが、今後さらに求められます。今年度は、社会科と家庭科を中心に教科間連携を意識して実践を行いました。そこから他教科へ、そして校種間連携へと広げて“自立した消費者”を育成していきましょう。



プロジェクトリーダー
近江八幡市立八幡中学校校長 楠本茂樹



2年 食品選択

「ある家族のためにカレーの食材を選ぼう！今まで学んだことをいかして、さまざまな視点から考えてみよう！」

【選択の視点】

- ・家族に必要な栄養
- ・地産地消
- ・食品ロス
- ・環境への配慮
- ・自給率向上
- ・安全・安心 など

【食品の選択】

ポイントに適した食品を選択しよう

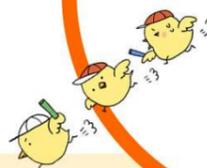


👁️生徒の反応

- ・班で話し合ったので積極的に考えることができた
- ・普段買い物をするときにあまり考えていなかった。今後買い物の際にはいかしたい

家庭分野

地産地消



社会地理

2年 日本の農業問題

なぜ農業人口は減少しているのかな？

👁️予想

- ・若者が農業に興味がない
- ・古くさいイメージ
- ・安定した職ではないから
- ・高齢化
- ・機械化による人員削減

<問>

みんなならどっちを選ぶ？



<結果>

価格の安い外国産を買う人が多いので農家の収入が不安定
↓
若者の農業離れ後継者がいない
↓
食料自給率
地元の活性化
地球温暖化の問題

👁️解決策

人が犠牲になっていない商品
地球環境が守られている商品
を選ぶ

企業への購入という投票

ひとりひとりの消費行動が
社会を変える力がある

- ・これを買ったらどうなるか考える
- ・国内産を買うメリットを広める
- ・自分の家の畑の手伝いをして関心を持つ
- ・農業のプラスイメージを若者にもってもらう



生徒の👁️で
見てみると！

英語

2年 World Heritage Sites

「なぜ富士山は世界自然遺産になれなかったのだろうか？」

富士山のある地域の環境がどんなものであるかをクラス全体で共有し、こういう状況を改善するためには自分たちには何が出来るかを考えた



国語

2年

未来への警鐘
～2030年に向けて
私たちができること～

「今、地球上では水資源の枯渇や人口増加が問題となっていた。他にはどんな問題があるだろうか？どう改善したらよいのだろうか？」

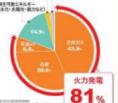
👁️生徒の発表

日本の電気のほとんどは何発電だと思えますか？

ア水力発電 イ太陽光発電 ウ火力発電

正解は..

火力発電です!!



そこで...
バイオマス発電
バイオマス燃料を燃やして発電



節約すること!!

みんなの少しの努力で **がんばれ!**
地球の未来を救うことができます

道徳

2年 自然愛護

ヨシ灯り展のはじまり

「はじめに竹田さんはどういう思いで家業を継いだのだろうか？」

👁️感想

- ・沙弥貴神社の屋根は葺きで手作業で作っているからすごく時間がかかっていると聞いてすごいと思った。
- ・竹田さんが守ってきた西の湖を大切にしていきたいと思いました。
- ・葦は水をきれいにしたり鳥の巣になっているのを知って驚いた。鳥はきれいな鳴き声だった。
- ・葦のことを何十年もしていて、フランスのパリまで行かれていると聞いて驚いた。
- ・西の湖の葦を今度行ったときに見てみたいと思います。
- ・ヨシ灯り展にも行ってみたいです。



2年 ふるさと学習

「びわ湖にとって“よし”はなぜ大事なのかな？地域に人にとって“よし”とはどういうものなのだろう。」

👁️感想

葦の大切さを学びました。葦には湖に住む生き物のすみかになったり、水をきれいにしたりする働きがあるのでとてもすごいなと思いました。葦をどんどん有効活用してほしいと思いました。



総合的な学習の時間

よしペンで書いた年賀状

